



Les
COSMINS
+plus
1er Concert
-Ma Tante-

J.S. Bach Cantate
BWV Nr.106

J.S. バッハ

カンタータ106番

“神の時こそ、いと良き時” 他

2015年10月31日 土曜日

阿佐ヶ谷 久遠基督教会 2階聖堂

13:30開場 14:00開演 チケット: 1,000円 (全席自由)

—きっかけは私の“伯母”でした。—

このアンサンブルを結成するに至ったのは2014年秋、当時わたしの伯母がお世話になっていた埼玉県西部の豊かな自然に囲まれた医療養護施設への慰問演奏を思い立ち、音楽仲間と声をかけたことがきっかけでした。

本来シャンソントリオ“Les COPAINS (コパン)”として、城村〈ヴォーカル&鍵盤ハーモニカ〉・清水〈ピアノ〉・松井〈コントラバス〉の3名で活動していたところへ、倉持夫妻〈ソプラノ・テノール〉を加え、声楽カルテットとしての形態へ進化。そしてこの度“Les COPAINS +plus (コパンプリュス)”として、フレキシブルに表現の幅を広げられるよう編成しました。

クリエイティブディレクションには、指揮者でありピアニストでもありまた歌手として、現在目ざましく活躍中の谷本 喜基氏を迎え、楽曲への解釈をより一層深めるとともにブラッシュアップに努めました。

この秋、満を持して第1回目の演奏会を開催します。素晴らしい仲間たちとのご縁と機会を齎してくれた今は亡き伯母に感謝しつつ「禱り」と「追憶」をテーマに、心に沁みる名曲の数々をお届けします。会場皆さまにお目にかかれまことを、メンバー一同心より楽しみにしております。

アンサンブル Les COPAINS +plus
シロムラサトコ de Satoco*

*** 演奏曲目 ***

J.S.Bach Cantate Nr.106 “Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit”—神の時こそ、いと良き時—

W.A.Mozart “Ave Verm Corpus” E. Elgar “Ave Verm” 「どうしていつも」 木下牧子

J.Arcadelt “Ave Maria” G. Fauré “Ave Maria” 「この道」 山田耕筰 (林光編曲) 他



ソプラノ

倉持 直子 Naoko Kuramochi

高校の文化祭でオペラを演ったことがきっかけで音大に進学、その後の人生が脇道に逸れてしまうことに。

ここ数年合唱活動を活性化させ、こーる・S、LCA、粒谷区合唱団、合唱団あつまやに所属、家事に支障が出ている。目下谷本先生の指導のもと自分の声を模索中。「一人ひとりの声が生きてこそ真のアンサンブルが生まれる」が信条。夏はバイク、冬はボードに乗るライダーでもある。



メゾソプラノ

城村 聡子 Satoco Shiromura

後期ロマン派の作品(とりわけR.シュトラウスとR.ワグナー)を聴くと勝手に涙が溢れるという特異体質の持ち主。ブルックナーの交響曲とピエマンが大の苦手だが、最近では調理法(演奏)次第で克服できるようになってきたとか。

シャンソントリオ“Les COPAINS”ではヴォーカルと鍵盤ハーモニカを担当。トリコロールとベレー帽を見ると無条件で胸が躍ってしまうフランスかぶれ。ネコに憧れている。



テノール

倉持 孝裕 Takahiro Kuramochi

アマ・テノール歴は30年以上だがプロ指導を受け始めたのは最近で、目からウロコが落ちまくる今日この頃。

こーる・S(墨田川高校OB合唱団)、粒谷区合唱団、合唱団あつまや、Les COPAINS +plus に所属。

夏はバイク部(移動宴会部)のサポートカー担当、冬はスノーボーダーとして、沖縄以外の全都道府県をマイカーで旅する男。

これ以上知りたい人は私の口にビールを投入して下さい。



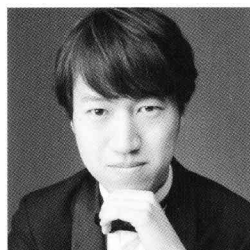
バスバリトン

清水 健太郎 Kentaro Shimizu

栃木からエントリーのバスバリトン。遠方ながら、ハルモニョ求めて頑張ります。生まれながらに罪深い名を背負うが、「失恋レストラン」は歌わない。一応27歳。

これまでは人の伴奏をする機会が多かったが、今は歌う方にも気持ちに向いている。自分の声を活かした、それでいて「いい声だね」で終わらない、説得力のある演奏を目指している。

高校音楽教師3年目。楽しくてためになる授業を提供すべく、日々ネタを探しています。

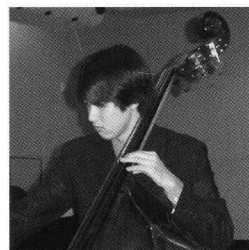


クリエイティブディレクション+ピアノ

谷本 喜基 Yoshiki Tanimoto

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学在籍中より指揮者・コレペティートルとしての活動を始め、各地の劇場において著名指揮者のもとでオペラ指揮を学ぶ。

これまで様々なコンクールやリサイタルにおいて、数多くの歌手とピアノで共演。指揮者としては都内各地のオペラや合唱団を指揮・主宰、歌手としては「歌謡喜」などのアンサンブル分野において活動を続け、いずれも好評を博す。



コントラバス

松井 祐介 Yusuke Matsui

15歳より吹奏楽部にてコントラバスを始める。慶應義塾大学文学部卒。慶應義塾フグネル・ソサイエティー・オーケストラ、新交響楽団を経て現在はクラシックのみならずジャズ、シャンソンなどジャンルを問わず演奏活動を行う。コントラバスを永島義男、野田一郎、ジャズベースを安川大樹の各氏に師事。

賛助出演 (J.S.Bach Cantate Nr. 106) : リコーダー 尾上 愛美 Narumi Ogami 中村 友美 Tomomi Nakamura

《Les COPAINS +plus》チケットご予約・お問い合わせ先

e-mail address : mlle.satoco@icloud.com

